

まちかどの元気印

日本共産党

市会議員



山田こうじです！

2026年1月11日
NO.362
事務所：西院上花田町36-3
電話：222-3728
携帯：090-3970-4701
山田こうじ共産党検索

2026年春・京都から

憲法活かした政治へ転換！



軍事対軍事
抑止力は幻想

2026年、日本の針路が大きく問われます。大企業から献金を受け、財界と富裕層の利益最優先の自民党政治は、暮らしを痛め日本経済を低迷させています。国民の強い批判を受けても、献金依存から抜け出せず、打開策を示せず行き詰っています。

こうしたなか、極右・排外主義勢力に迎合し、強硬な姿勢で、外国人への不安・排斥感情を煽って支持をつなこうとしています。

中国など特定の国を敵視し安全保障への危機感をあおり、米国言いなりに軍拡を正当化し、軍需産業強化を経済成長の柱に据え、「殺傷能力のない装備品に

「平和と平等は手を携えてやってくる」という言葉があります。その反対は「戦争と差別・排外主義は一緒に手を携えてやってくる」です。

ストックホルム国際平和研究所は昨年5月、2024年の世界の軍事費が総額390兆円と、統計を取り始めた1988年以来過去最高となったと発表しました。

「アメリカファースト」

限る」とした防衛装備品移転三原則運用指針を緩和し、武器の全面輸出を狙う等、「死の商人国家」「戦争する国」へ突き進んでいます。

米国家安全保障戦略（NSS）は「米国防（NSA）を掲げ、同盟国の負担拡大を求め、GDP3・5〜5%という途方もない軍事費を要求しています。

米国を中心とする軍事ブロックに対抗するため、中国・ロシアも軍事費を増やし、さらに中ロと北朝鮮の3カ国が軍事ブロック化を強め、安全保障環境は一層厳しさを増しています。

戦争は差別と
排外主義から

も「日本人ファースト」も「軍拡・排外主義」と同根の戦争への破綻の道ではないでしょうか。

憲法を生かした
政治を今こそ

世界的な軍拡の波に対して、国連は昨年9月、「持続可能で平和な未来のために世界の軍事支出の再調整を」と題した報告書を公表しました。軍事費と、飢餓・医療・教育・地球温暖化といった分野との支出の優先順位を調整し直すよう要求しています。中満泉国連軍縮担当上級代表は、「世界の優先事項を再調整することとは、選択ではなく、人類の存続のために不可欠」だと訴えました。

米国は無法な
侵略をだにやめろ

1月3日、米国トランプ大統領はベネズエラに大規模な武力攻撃を行い、マドゥロ大統領を拘束、米国内の拘置所に収容し「米国で裁く」「米国がベネズエラを運営する」と表明しました。新たな植民地支配の宣言だと

いわなければなりません。国連憲章・国際法を蹂躪する無法な行為は許せません。

世界各国では無法な攻撃に抗議し、マドゥロ大統領らの解放を求めるデモや集会が繰り広げられました。力による現状変更は、いかなる国であれ、いかなる理由であれ許されません。各国で軍拡に抗するたたかいを強めると同時に、平和のための連帯を強め、軍拡の悪循環を断ち切る必要があります。憲法9条を持つ日本こそ、そうした動きを主導すべきです。

第282回 暮らしのなんでも相談会

暮らしにかかわるどんなことでも…
金融・債務の整理・相続・税金・労働・医療・健康
保険料の支払い・地域要望等、どんなことでも結構
です。
秘密厳守・相談無料です。お気軽にお越しください。

1月17日（土）午後1時半～3時

会場 安井後援会事務所（安井小学校前）
主催 日本共産党市会議員 山田耕司事務所
佐々木 義人 801-9379



「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのない様にする」ことを決意したのが戦後日本の原点です。「戦争の備えより、くらし応援の政治を！」の声を、今年の春、京都から全国に発信しましょう！

「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのない様にする」ことを決意したのが戦後日本の原点です。「戦争の備えより、くらし応援の政治を！」の声を、今年の春、京都から全国に発信しましょう！

山田こうじです！
NO.349
2026年、知事選挙・右京府会補欠選挙の年が明けました。
補正予算で国民の暮らし置き去りの軍事費GDP2%を前倒達成し、唯一の戦争被爆国の国是である「非核三原則」を見直すなど、タガが外れた暴走にストップをかけなければなりません。「平和でこそ商売繁盛」が私の信条です。